

トーチングロード
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第77回〕

修行の必要性

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

真打になって9月でまる一年を迎えることができました。どこに行っても「師匠」と呼ばれることが多く嬉しいながらも恥ずかしい気持ちもあつたりしております。

また寄席（都内4カ所にある落語が毎日行われているところ）にも定期的に出演しております。ちなみになんてが寄席に出演するだけでも狭き門なんです。実はすごいことなんです！（笑）

最近、ありがたいことに講演のお仕事を頂くことが増えております。

銀行、建築会社、会計事務所、食品系などからお呼びいただいて落語界のことや、コミュニケーション、安全についてお話しさせていただいております。

ぜひお時間のご依頼よろしくお願いたします（笑）

先日、警察学校で講演させていただいた際には自分の真打までの道のりを話したのですが、改めて振り返ると修行というのは無駄じゃない本当にありがたい制度だなどしみじみ思いました。

修行というのは、その職業の基礎固めの期間でもあり師匠や先生、先輩といわれる方とその世界や人としての生き方を教えてもらい、時には私生活の

ことなども注意を受け、たまには理不尽に怒られたりします。

でもこの時間があつたからこそ、今の自分がいるし精神的にも強くなったと自負しています。

もしこの時間がなかったら、小さいことを悩んだり、行動力に欠けていたりして生きていく力が弱くなっていたんじゃないかと。そう考えるとゾッとします。

改めて師匠や周りで関わっている方に感謝したい。

そう。この「感謝」ですら修行していなかったら気付けられない可能性だってあるんです。

やってくれて当然、誰かがしてくれるだろうと思っていたかもしれませぬ。

しかし、今の時代は新入社員になんかを教えようとしても受け手の問題ですぐに〇〇ハラといったハラスメントになりかねないのが懸念点。

この波は会社だけでなく落語界や伝統芸能の世界にも来ております。

伝統や芸や技を次世代につなぎづらくなっているのが現状。

しかし、つないでいくのも使命だと思ひ、〇〇ハラにならないように教えていきたいと思ひます。

netkeiba プレゼンツ 林家希林とメシ馬の
「馬並みな話ではございますが」

毎週土曜日 18:30 より放送中!

インターエフエム [89.7MHz TOKYO]

<https://www.interfm.co.jp/umanami>

林家希林とかしめ・洋平の今夜は話さナイト

出演 林家希林、立川かしめ、大西洋平

毎週土曜日 24:30 ~ 25:00

K-mix (静岡 FM) で好評放送中!

radiko プレミアムにご登録いただくとお聴きいただけます。静岡エリアの方はradikoにて一週間タイムフリーでいつでも!

profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。

2009年林家木久扇に入門

2013年二ツ目昇進。

2023年9月下席より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長!

趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。

空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。

初の著書『師匠!』発売中

